佐世保市立大野中学校　学校だより　　校訓：至誠をもって　生涯を貫こう

大野一心

NO.３３

令和５年１月２３日（月）　文責：校長　諸熊　修一

校長のひとり言

新型コロナウイルス感染症の国内初感染から３年が経過しました。３年前、中国の武漢で新型コロナウイルスが確認されたと報道されたときは、新聞でも小さな記事で、私も他人事のように思っていました。それが瞬く間に全世界へ広がりました。日本でも大型クルーズ船で集団感染が確認され、２月末には当時の安倍首相が緊急事態宣言を発令し、全国の学校が休校となる異常事態となりました。私は当時、佐世保市教育委員会に勤務していたのですが、夜遅くまで様々な対応に追われていたことを思い出します。

３月末には、お笑いタレントの志村けんさんが亡くなり、新型コロナウイルスへの不安が一層高まりました。店頭からはマスクが品切れになり、私も知り合いが作ってくれた手作りのマスクを着用していました。市内の小・中学校の卒業式は、保護者と職員のみの簡素化された中での式でした。各学校、在校生による見送りもなかったように記憶しています。

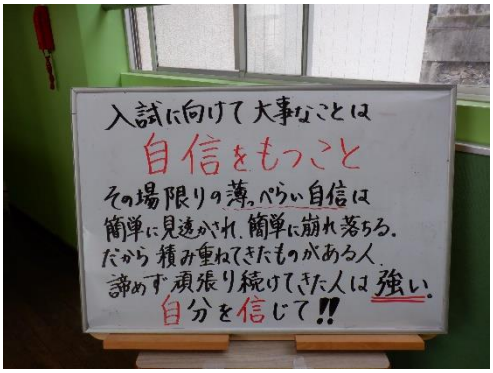
それから３年が経ちました。国は４月から新型コロナウイルスの感染法上の位置づけを５類に移行する方針を表明しましたが、現時点では感染収束の気配すら見通せません。新たな新種株が発見されたという報道も流れてきます。イギリスの元首相であるウィストン・チャーチルは「凧が一番高く上がるのは、風に向かっているときである。風に流されているときではない」と言いました。私の好きな言葉の一つです。年度末を迎えて、各学年ともまとめの時期に入っていきます。卒業式もあります。残り２か月、職員と様々な知恵を出し合いながら「With コロナ」の視点で、子どもたちが充実した学校生活を過ごすことができるように鋭意努力していきたいと思っています。

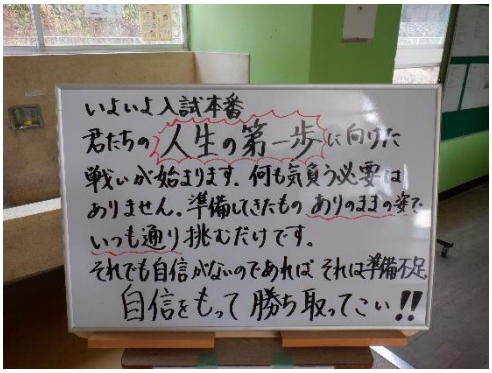
そして、無事に卒業式・修了式が終わったときには、校長室で一人小さな声で「ブラボー！」と叫びたいと思います。

頑張れ３年生！！

本格的に入試シーズンに突入し、明日から市内の私立高校の一般入試が始まります。市外の私立高校や推薦入試で、すでに志望校から合格通知をいただいている生徒もいると思いますが、多くの人はこれからが本番です。３年生の皆さんには何度も言っていますが、受験は団体戦です。勉強は一人でしなければなりませんが、周囲には同じように頑張っている人がいます。クラスの中で、お互いに励ましあったり悩みを語り合ったりして、クラスみんなで乗り切っていってください。先生方も皆さんを支えていきます。

頑張れ３年生！！





３年生の廊下に掲示されています。